



令和7年度 校内研修主題

自他を大切にし、よりよく生きようとする生徒の育成

～「考え、議論する道徳」の実現を目指した指導方法の工夫・改善を中心として～

学校経営方針

- (1) 全教職員の創意と知恵を活かしながら、学校教育目標の具現化を図る。
- (2) 生徒理解に立脚した教育活動を実践し、生徒との信頼関係を構築する。
- (3) 生徒一人一人が自分のよさに気づき、他者と認め合える教育活動を展開する。
- (4) 生徒が夢の実現に向けて一層の努力ができるよう、教育環境を整備する。

本年度の重点

- (1) 学習指導の充実
- (2) 生徒指導の充実
- (3) 教育相談の充実
- (4) 道徳教育の充実
- (5) 進路指導・キャリア教育の充実
- (6) 特別活動の充実
- (7) 健康教育の推進と体力の向上
- (8) 安心・安全な学校づくりの推進
- (9) 家庭や地域と連携を図った教育活動の充実
- (10) 教育公務員としての自覚を持った教員の育成
- (11) 働き方改革の推進

一人一人の生徒を全教職員で支援

学習面、生活面ともに、きめ細かく支援する

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の実践
- ・個に応じた指導の充実
- ・学力向上プランに基づいた指導法の工夫・改善
- ・夏季休業中の三者面談、教育相談の推進
- ・生徒指導部会、教育相談部会の定例会議
- ・生徒理解に努め、良さを伸ばす教育の実施
- ・さわやか相談室の活動

(さわやか相談員、サポート相談員、スクールカウンセラー)



体育祭

あたたかい雰囲気づくりと地域・小学校との連携

家庭・地域・校区小学校との連携、交流の一層の推進を図る

- ・地域との交流推進(学校公開週間)
- ・コミュニティ・スクールの充実

あいさつがよくできる生徒の育成

明るいあいさつ、しっかりとした返事を生徒、教職員ともに心がける

- ・あいさつや声かけなど日常的関わりによる生徒理解
- ・担任・副担任、ともに行う学級指導
- ・好ましい人間関係づくりを目指す取組



球技大会

校訓

自立・貢献・信頼

学校教育目標

自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健康に努める生徒

よくわかる授業と確かな学力の育成 令和の日本型学校教育の実践

基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、課題を解決するための思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度を養う

主体的、対話的で、深い学びの実現という視点を持って、生徒の変容を踏まえつつ、指導方法を不断に見直す

- ・個別最適な学び、協働的な学びの授業実践
- ・少人数指導・T・Tによるきめ細かな指導の充実
- ・ねらいをはっきりさせ、学ぶ喜びを味わえる授業の工夫改善
- ・根気強く、丁寧な指導、あきらめない指導の徹底
- ・読む力・書く力・話す力・聞く力の確実な定着
- ・ICT機器を効果的に活用する授業実践
- ・朝読書の実施



授業風景

きれいな学校・安全な学校

きれいな学校、清掃の行き届いた学校を伝統として受け継ぐ

安全な生活を送ろうとする態度を育てる

- ・校舎内外の清掃活動、美化活動の徹底
- ・施設設備の徹底した安全点検
- ・防災意識を高める安全教育の推進
- ・部活動時の自転車による交通事故防止の徹底

生徒会活動の充実

生徒の自主的、実践的な活動の充実を目指す

- ・生徒会活動や委員会活動の充実
- ・生徒が主体的に運営する生徒朝礼・学年朝礼
- ・自己決定力、集団決定力を育む学級活動の取組
- ・ボランティア活動など社会貢献できる生徒の育成



生徒総会

豊かな心の教育の充実

心身ともに健康で、健全な生活を送ろうとする態度を育てる

- ・道徳の時間を柱とした道徳教育の充実
- ・各行事を効果的に用いた心に迫る指導の充実

健康な体づくりと体力向上の充実

生徒、教職員ともに努力し、健康で体力のある生徒を育てる

- ・体力向上への継続的・効果的な取組の推進
- ・養護教諭との連携による保健指導の充実



合唱コンクール



スキー林間学校



修学旅行

